

春の全国交通安全運動が はじまります。

4月6日から15日までの10日間『春の全国交通安全運動』が行われます。

この期間は、入園・入学シーズンであり、子どもたちにとっては、慣れない道を通う生活が始まります。新たに交通社会の一員となる新入学児童等に対する交通ルール・マナーの理解・習慣付けを図り、家族ぐるみ、地域ぐるみの交通安全を進めていきましょう。

本町の平成23年中の事故発生状況を見てみると、前年度より減少しているものの、発生件数72件（うち傷者が95人）と決して少ない数字ではありません。

さらに今年は、1月から2月にかけて町内で交通事故が多発しており、昨年と同じ時期と比べ発生件数・傷者数が増加しています。（発生件数は8件 昨年比6件増加、傷者数8人 昨年比6人増加）

昨年、志布志警察署管内で発生した交通事故は、全体の約34%が高齢者が関連しています。高齢者は以前は歩行者として被害に遭うケースがほとんどでしたが、いまはドライバーとして加害者側になることもまれではなくなっています。その原因の多くは、高齢からくる判断力の低下や注意力の低下です。そして、事故発生箇所も多いのが、交差点、横断中の事故です。

今年の交通安全スローガンは「横断は しっかりとよく見て たしかめて」です。

歩行者、車の運転者ともに町民一人ひとりが、交通事故の減少を目標に、交通事故を未然に防ぎましょう。

《交通情報（平成23年1月1日～12月31日）》

区分	発生件数	死者	傷者
県内	10,073 (-458)	78 (-16)	12,282 (-501)
志布志地区	268 (+6)	4 (+3)	358 (+22)
大崎町	72 (-7)	0 (-1)	95 (-6)

平成24年交通安全運動スローガン

『横断は しっかりとよく見て たしかめて』

【平成24年4月6日～4月15日】

